

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ひだまり				公表日	2025年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	77%	15%	・療育室を広く使う工夫をしている	・使い方の工夫を続けます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	77%	7%		・日によっては、利用児童に対しての数はギリギリと思う ・配置は適切だが子どもの特性によって大変な時もある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	54%	15%	・らせん階段がある。昇り降りは職員が付きま す ・学習スペースを別室に設けている ・不十分な点もあるが適切に配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	77%	0%	・設備、備品の整美等スタッフ全員が気を付けてあ っている	・チェックを怠らない様にします
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	7%		・もっと個室があってもいいかと思うがとれ ない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	62%	23%	・職員も目標に向かって色々行動、評価して いる。参画できている	・適切な実施に努めます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	0%	・意向はすぐに共有され内容を把握できてい る 改善に向けて努力している ・都度保護者の意向はくみ上げられる ・定期的にミーティングをおこなっている	・今後も適切に実施します
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	0%	・職員間で意見を出し合い常に改善に向けて 努力できる環境 個々の意見もよく聞いても らえる ・努力している	・今後も適切に実施します
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15%	15%		・今回の評価を元に、業務の改善に取り組み ます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	85%	7%	・研修が実施されている全員参加できるよう 開催日が工夫されている ・研修、ケーススタディ 医療者の視点も 入ってきた	・今後も適切に実施します
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	92%	0%		・今後も適切に実施します
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・今後も適切に実施します
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	92%	7%		・今後も適切に実施します

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	92%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ全員が努力している（常勤ばかりではないのでできるだけ共有するよう努力している）</li> <li>・その子に沿った支援をする中で職員間で考えや感じた事を話す機会が多い</li> </ul>	・今後も適切に実施します
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	54%	15%		・今後も適切に実施します
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	62%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している</li> </ul>	・今後も適切に実施に努めます
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	62%	0%		・今後も適切に実施します
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	85%	0%		・子どもたちが主体的に取り組めるワクワクする活動を考えていきます
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	62%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに応じて課題などのプログラムをする時間を作り支援する</li> </ul>	・今後も適切に実施します
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングにより前日や最近の様子などがよくわかる。一日の流れや動きが把握できる</li> </ul>	・今後も適切に実施します
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	77%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で共有していくよう努力している</li> <li>・全員揃うことは送りの時間があるので難しいが、反省店や情報の共有はしている</li> <li>・重要事項があれば行っていると思います</li> </ul>	・今後も適切に実施します
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している</li> <li>・日々の記録はしている</li> </ul>	・今後も適切に実施します
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	85%	0%		・今後も適切に実施します
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	77%	0%		・今後も適切に実施します
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	85%	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考える、今は何をするといいかなど常に子どもに考える力をつけるよう工夫して支援している</li> </ul>	・今後も適切に実施します
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	62%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サビ管、正規職員などが計画・参画している</li> </ul>	・今後も適切に実施します
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	54%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当所は連携をしたいですが医療も学校も発達支援を理解していないところが多い。</li> <li>—明石の市立中学校の支援級の教師は「放課後等デイサービスは使わなくてよい。部活をしていけばかしくなる」との発言を保護者にしてショックを与えている。</li> <li>障害福祉にはよく問い合わせます。定期的にはできないが各学校と出来るだけ情報交換をしているトラブル発生時には適切に取り組む</li> </ul>	・今後も適切に実施に努めます

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	77%	0%		・今後も適切に実施します
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	46%	15%		・今後も適切に実施します
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	46%	7%		・今後も適切に実施します
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	46%	0%		・必要に応じて専門機関の情報を共有したりを研修を受講しています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	31%	31%		・保護者全員にアンケートを取り、全員の了承を得られた上で実施します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	15%	7%	・研修があれば参加している	・今後も適切に実施に努めます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	0%	・送迎時には、少しの時間保護者と会話する（子どもの一日の状況など）	・今後も適切に実施します
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	38%	7%		・保護者が気軽に事業所に来られるようなイベントにお誘いすることから始めたい。
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	85%	0%		・今後も適切に実施します
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	85%	0%		・今後も適切に実施します
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	92%	0%		・今後も適切に実施します
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	92%	0%	・送迎時に聞いた話などはすぐ職員間で共有してサビ管に伝える	・今後も適切に実施します
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	15%	23%	・クリスマス会などを開催して保護者同士の交流や子どもの成長を見てもらえる様に工夫している ・保護者、家族が参加でき療育の発表をかねたコンサートを開催している ・毎年、Xmas子どもたちのコンサートを催し、保護者との交流を深めている	・今後も適切に実施します
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・リアルタイムで対応している	・今後も真摯に対応します

等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	69%	0%		・今後も適切に実施します
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		・今後も適切に実施します
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	77%	0%		・今後も適切に実施します
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	15%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後Xmasコンサートや研修に地域の方達をお誘いする予定</li> <li>・教育、福祉をめざす高校生（地域の）にボランティアとして子どもたちに関わってもらっている。</li> <li>・地域ボランティアの先生に読み聞かせしてもらっている。</li> <li>・クリスマスコンサートを近くの会館で行った</li> </ul>	今後も地域の皆さんとの関わりを拡げていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	92%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は2週間に1度取り組んでいる</li> <li>・職員研修に参加、勉強している。活動プログラムの中で子どもたちには防犯などは参加させる</li> <li>・普段通り＝防災行動となるくらい身につけてもらうのが目標</li> </ul>	策定したマニュアルを見て頂けるよう置き場所、貼り出し方を工夫します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	69%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に避難訓練をプログラムに取り入れて備えている</li> <li>・ヘルメットはすぐ被れる状態で玄関に並べている。</li> </ul>	・今後も適切に実施します
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・子どもの状態や様子など職員間で共有を常に心がけている	・今後も適切に実施します
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問48番と同様職員間で共有</li> <li>・保護者から詳細を受けるようにしている</li> </ul>	・今後も適切に実施します
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	69%	0%	・研修参加、勉強している	・今後も適切に実施します
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	54%	0%		・今後も適切に実施します
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	92%	0%	・職員で共有し再発防止をこころがけている	・今後も適切に実施します
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92%	0%	・研修で勉強している	・今後も適切に実施します
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	77%	0%	・過去にも現在にも身体拘束を行うべき児童はいません。身体拘束については虐待の研修で学んでいる	・今後も適切に実施します	